

第1章 学習教育活動の方針

(1) - 1. めざす学校像

肢体不自由等の障がいのある児童生徒の将来を見据え、一人ひとりのニーズを的確に把握し、小・中・高一貫した教育活動において学力の基礎・基本を身に付けるとともに、キャリア教育を推進し、自立と社会参加へ向けて積極的に学ぶ人間の育成をめざす。

- 1 学びの連続性を確保し、系統性・発展性のある教育活動を推進する学校
- 2 地域における教育・関係機関との連携を推進し、特色ある教育活動を発信する学校
- 3 人権尊重、危機管理を徹底し、校内の課題に対し迅速な対応ができる学校
- 4 児童生徒の卒業後の自立と社会参加に向けより高い専門性・支援力を追求する学校

(2) - 1. 学習指導の方針【小学部】

① 教育目標 「豊かな感情や意欲への気づき」

② 運営の重点

健康教育をベースとして、障がいの状況に応じて一人ひとりが「ゆたかな感情」、「あふれる意欲」、「持続する力」を身に付けていけるように指導・支援する。

③ 指導・支援の重点

- ・ 安定した健康状態を獲得・確立し、活動の場を広げる。
- ・ 一人ひとりの課題を明確にし、それぞれに応じた指導を行う。
- ・ 生活習慣や集団生活のルールを実際の場面や活動を通じて養う。
- ・ 児童同士の関わりの中で、互いを認めあい、育ちあえるように指導する。
- ・ 色んな触れあい、働きかけを通して、コミュニケーションの基礎を培う。

(2) - 2. 学習指導の方針【中学部】

① 教育目標 「持てる力・必要な力を伸ばす」

② 運営の重点

小学部で身に付けた様々な力をより確実なものとし、「持てる力・必要な力を豊かにし、新しいことに挑戦しよう」を目標に、将来を見据えた学習活動、学級活動、他校との交流活動などを行う。

③ 指導・支援の重点

- ・ 安定した健康状態を保ち、外出や季節行事等の新たな経験・体験を積み上げる。
- ・ 実際の生活場面に即した学習を通じて、必要なマナーについて学ぶ。
- ・ これまで培ってきた力を、学校生活以外においても発揮できることをめざして学習に取り組む。
- ・ 仲間と一緒に活動することを通して、集団生活に必要なルールやマナーを学ぶ。
- ・ 人との豊かな関わりを通して、自分の気持ちや感情を伝える力、相手の気持ちを思いやる力を育む。

(2) - 3. 学習指導の方針【高等部】

① 教育目標 「生活を豊かにするために活かす」

② 運営の重点

「生活を自ら切り拓き、豊かにする力を付ける」を重点目標に、多くの体験を積むことによって、社会に出て自立できるように指導・支援する。

③ 指導・支援の重点

- ・ 新しい場所でも安定した活動ができるよう、経験を積み上げる。
- ・ 一人ひとりの生徒が、考えや気持ちを伝え、表現できる自己表現力を養う。
- ・ 自分の未来を見つめ、これまでに培ってきた能力や個性を活かして、卒業後の社会生活にかなげられるようにする。
- ・ 様々な体験や学習を通して、自らのよさや興味・関心を深化させる。
- ・ 人と主体的に関わり、互いを認め合い、高めあう姿勢をもち、円滑な人間関係が形成できるように指導・支援する。
- ・ 卒業後社会に出た際に必要になる基礎的な学力を充実させる。